

看護学科精神看護領域教員の活動紹介

臨床と教育・研究の場を結ぶ『沖縄県精神看護研究会』を開催しました！

名桜大学に看護学科ができ5年目に入り、卒業生を臨床に初めて送ることができました。この間、臨地実習や教育研究活動を通して、多くの臨床の皆さま方や看護基礎教育機関の先生方と交流をもつことができました。4月から看護学研究科(大学院)もスタートし、臨床・教育・研究の場を結ぶ研究会を立ち上げることになりました。第1回は、2011年9月17日、本学看護学科棟で開催しました。今回のテーマは精神科看護におけるマッサージやタッチングといった身体的ケアに焦点を当て、『病状の重い統合失調症患者を対象としたフットケアの効果について—ノーブルメディカルセンターにおける実践から—』(ノーブルメディカルセンター副看護部長 鬼頭和子氏)と『精神科看護におけるマッサージやタッチングの治療的意味について—タクティールケアの研修に参加しての経験から—』(名桜大学人間健康学部看護学科教授 鈴木啓子氏)の2題のプレゼンテーションを受けて、参加した皆さんとディスカッションしました。ノーブルメディカルセンターにおける3年越しのフットケア研究の成果から、フットケアを精神科の入院患者さんを対象に日常の看護として取り入れ、精神症状の改善、疎通性の改善等に効果が上がっていることが報告されました。教育側からは、精神看護実習において、フットケアを患者さんへ接近する際の有力な一看護技術として活用したいという討論もされました。また皮膚にふれることがもたらすリラクゼーション効果や疼痛緩和効果等は、エビデンスがどの程度明確になっているのかについても、研究レビューの報告を通してディスカッションしました。数少ないRCTや準実験研究もマッサージやタッチングのプロトコールが不明確であったり、無作為割付プロセスの記述が明確でなかったりと、エビデンスが求められていることが話題に上がりました。臨床・教育の場からそれぞれ共有できる思いや今回のテーマに関して期待すること、取り組んでみた経験を含めての情報交換など、実践として探究課題として、さらに広がりをもって継続されそうなテーマでした。



とっても“楽しく、頼もしく”、実は多くの能力を秘めていそうなステキな方々でした。これからもよろしくお願いします！

さらにいろんな方と出あってゆきたいと思っておりますので、連絡お待ちしております♪

本研究会では“皆さんが自由に発言できる感じで、気軽に参加できて、行くと面白かったと思えるような場”を、参加して下さる皆さんとともにつくってゆけたらいいな、と思っています。今回初めて出会う方が多かったにもかかわらず、和気あいあいとした雰囲気の中で、ディスカッションすることができました。しかし実践として学問としてクリティカルであったり、わくわくする感じの空間でした。これからとっても楽しみです。精神看護だけでなく看護全般、看護教育など、ともに刺激しあって探究していきたいというみなさま、どなたでも参加できますので、遠慮なくお越しください。資料の準備等の関係上、事前にご連絡くださるととてもありがたいです。
*現在の予定と申込用紙を以下に掲載しておきます。お問い合わせもご遠慮なくどうぞ。



これまでの試行錯誤の取り組みとそれを発表して世に問うてきた経緯をもつノーブルメディカルセンターのみなさん



高齢者看護学から永田先生も参加して下さり、タクティールケアや高齢者へのフットケアのことなどご意見をいただきました。



フットマッサージにとっても興味をもっています。



いろんな思いや経験、希望いっぱいのごしかわの先生たち。仲の良い雰囲気が伝わってきました♪



機関の特徴・役割をもちながらも、より良い効果的な看護実践を模索し、取り組まれている琉球病院のみなさん。意欲いっぱいでした。

お隣の北部看護から急ぎよ駆けつけてくださった與那覇先生。まさに熱いheartとcoolな脳をもつような“でっかい”方でした。

沖縄県精神看護研究会のご案内

この会は、日ごろ看護を実践されている皆さんと教育研究に携わっている皆さんとの交流の場をもつことにより、毎日の取り組みや工夫、行ってみたいこと、夢を語り合ったり、新しい情報や知見、取り組みについて共有することができたらと思い、立ち上げました。臨床のことから教育のこと、組織やシステムの事などさまざまなことを検討できたらと思います。参加はご都合に合わせて、興味のあるテーマがあったらのぞいていただけたらと思います。気軽に参加でき、参加して面白かったなと思えるような場となるとよいと思っております。

情報提供をしてくれる方のお名前とテーマ、日時、会場を下記のように、現在のところ予定しております。こんなことを聞いてきた、見てきた、うちはこんなことをしている等、ちょっと紹介してもいいよという情報があれば、何でもokです。ご連絡は、下記へお気軽にお願いします。大学院で将来、学んでみたいなあと思っていられっしやる方にも、お勧めです。今のところ情報提供できる方に、お願いをしていますので、さまざまな領域やテーマが上がってくるので、精神看護にこだわらずに、参加頂けるとよいと思います。よろしくお願い致します。

事務局：鈴木、伊礼、平上（名桜大学）

会場：名桜大学看護学科棟 3階講義室4（今後いろいろな場所にも出向きたいです）

参加費：資料茶菓代 200円

日時	テーマ(今のところの予定です)	情報提供者	参考になる資料・情報など
第1回 9/17 (土) 15:30- 17:30	「精神科看護におけるマッサージやタッチングの治療的意味についてータクティールケアの研修を参加しての経験からー」 「病状の重い統合失調症患者を対象としたフットケアの効果についてーノーブルメディカルセンターにおける実践からー」	鈴木啓子(名桜大学人間健康学部看護学科) 鬼頭和子(ノーブルメディカルセンター)	タクティールケアについての情報 HP http://www.jsci.jp/
第2回 10/22 (土) 10:00- 12:00	「精神科入院患者の脱水予防のための経口保水液の利用ー第15回日本看護管理学会に参加しての最新情報報告ー」 「精神看護実習における実習指導者の学習支援の構造」(岡山県立大学保健福祉学研究科看護学専攻修士課程研究論文)	鬼頭和子(ノーブルメディカルセンター) 平上久美子(名桜大学人間健康学部看護学科)	
第3回 11/26 (土) 時間未 定	「精神看護学に関連する講義・実習における取り組みや工夫についての情報交換(仮)」 例：・模擬患者役をおくロールプレイング授業 ・精神状態のアセスメント演習授業 ・当事者参加の授業 ・DVD や視聴覚教材の効果的活用 ・実習の取り組みなど	募集中 (テーマも自由に決めて頂いてかまいません)	
第4回 12/17 (土) 10:00- 12:00	「沖縄県における高齢者の看取りを支える」コミュニティ・ケアのあり方に関する研究」(琉球大学保健学科修士課程研究論文) 「タイ式マッサージの実際と看護への応用についてータイにおける研修を体験してー」	大城凌子(名桜大学人間健康学部看護学科) 本橋聖子(ノーブルメディカルセンター)	

事務局連絡先：名桜大学人間健康学部看護学科

平上久美子 (TEL0980-51-1281, email: k.hirakami@meio-u.ac.jp)

伊礼 優 (TEL0980-51-1038, email: irei@meio-u.ac.jp)

鈴木 啓子 (TEL0980-51-1263, email: keiko@meio-u.ac.jp)

*資料の用意の都合上、別紙ファックスにてお申し込み頂けますと助かります。

0980-51-1307
名桜大学人間健康学部看護学科事務

沖縄県精神看護研究会への参加申し込み FAX

下記に参加申し込みます。

	参加する回に○をつけてください	御所属	氏名
第2回 10/22(土) 10:00-12:00			
第3回 11/26(土) 時間未定			
第4回 12/17(土) 10:00-12:00			